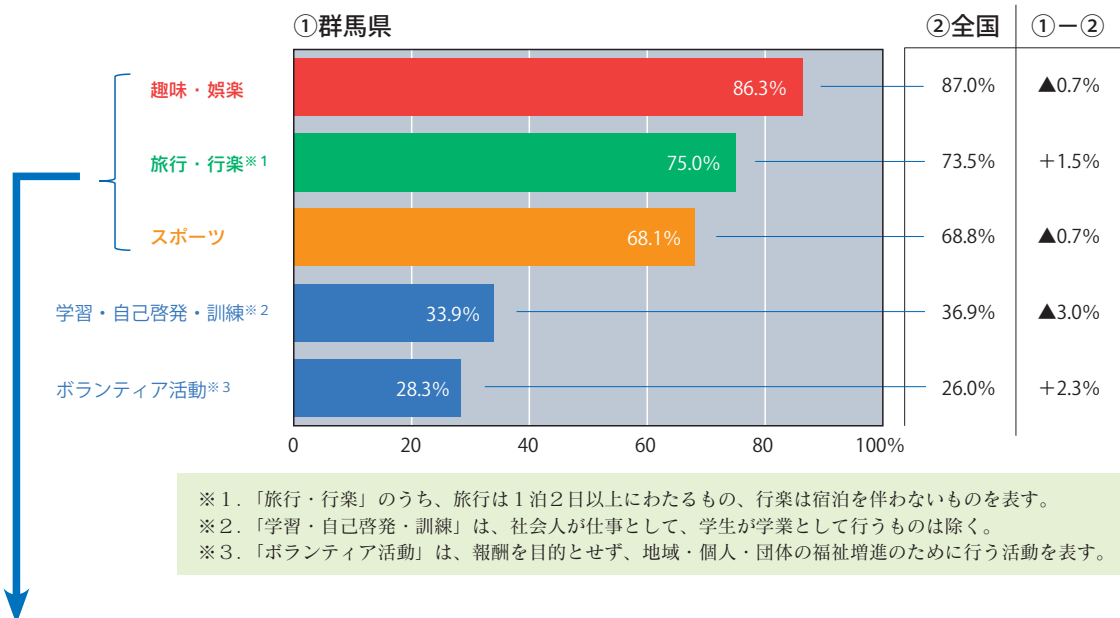


群馬県民の自由時間の過ごし方

～映画鑑賞、音楽鑑賞、行楽、ウォーキング・軽い体操が中心～

- 総務省の「社会生活基本調査（2016年調査）」より、自由時間の過ごし方を『行動者率（調査対象のうち過去1年間に該当する活動を行った人の割合）』で見ると、群馬県内では「趣味・娯楽」を筆頭に、「旅行・行楽」「スポーツ」を楽しむ人が多いと考えられる（図表1-①）。全国と比べると、ほぼ同様の傾向がみられる（図表1-②）。
- 具体的な活動内容をみると、趣味・娯楽では「映画館以外での映画鑑賞」「CD・スマートフォンなどでの音楽鑑賞」「映画館での映画鑑賞」、旅行・行楽では「行楽（日帰り）」「国内観光旅行」、スポーツでは「ウォーキング・軽い体操」を行った人が多い（図表2）。
- 全国と比べると、旅行・行楽の活動で特徴がみられる。本県では、観光資源が豊富なことから自由時間を「行楽（日帰り）」に使う人が多い反面、「帰省・訪問などの旅行」「海外観光旅行」が少ない。

図表1 自由時間の過ごし方（行動者率＝1年間に該当する活動を行った人の割合）



図表2 自由時間の過ごし方 [具体的な活動、上位4つ]

●趣味・娯楽 ()内は全国のデータ

映画館以外での映画鑑賞	CD・スマートフォンなどでの音楽鑑賞	映画館での映画鑑賞	趣味としての読書
49.1% (52.1%)	45.2% (49.0%)	36.2% (39.6%)	35.1% (38.7%)

●旅行・行楽

行楽（日帰り）	国内観光旅行	国内帰省・訪問などの旅行	海外観光旅行
65.1% (59.3%)	47.4% (48.9%)	16.3% (26.0%)	4.9% (7.2%)

●スポーツ

ウォーキング・軽い体操	器具を使ったトレーニング	ジョギング・マラソン	登山・ハイキング
42.4% (41.3%)	13.6% (14.7%)	11.5% (12.1%)	11.5% (10.0%)

【一口メモ】

「社会生活基本調査」は、国民の生活時間について調査し、国の各種政策の基礎資料を得ることを目的として、1976年より5年ごとに実施されている。国が実施する統計調査のうち、とくに重要な「基幹統計調査」に位置付けられている。

(担当：樹下芳久)